

あかるく かしこく たくましく

令和7年3月25日 No. 50 (最終号) 文責：校長 佐野紳二

スマイルミッションで新年度に向けての準備を

今日の修了式をもって令和6年度は終わり、明日から新学期開始の4月7日まで、12日間の春休みとなります。この1年間、どの子どもみ一人なよく頑張りました。一人一人の成長には違いはありますが、みんな4月と比べるとひと回りもふた回りも大きく成長しました。子どもたち全員に、大きな拍手を送りたいと思います。保護者の皆様には1年間、学校教育へのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。修了式での校長の話の一部です。

【前半は1年間の各学年の成長の様子について話をしました。割愛します】

明日から春休みです。4月6日まで、12日間のお休みは、みなさんがそれぞれ一つ上の学年に進むための準備をするためのお休みです。春休みがいい休みになるように、そして、4月から始まる新しい1年がスマイルいっぱいのお1年になるように、今回も校長先生から全校のみなさんに3つのミッションを出したいと思います。名付けて、「笑顔いっぱいの春休みにするための3つのスマイルミッション！」です。今回は「え・が・お」の3文字を使って考えてみました。



スマイルミッション、えがおの「え」は、「エネルギーをいっばいためよう」です。

車や飛行機が、燃料がないと動かないのと同じように、みなさんが「4月からがんばるぞ！」と思って動き出そうとしても、エネルギーがたまっていないとスタートできません。春休み中には、自分の中にエネルギーをいっばいためましょう。そのために必要なのは、早寝・早起きをしてご飯をしっかり食べることと、規則正しい生活をするということです。勉強も復習をしっかりして、頭の中のエネルギーをしっかりためておきましょう。

スマイルミッション、えがおの「が」は、「学用品をそろえよう」です。

今の学年で使った学用品を整理し、いらなくなったものは処分し、足りないものは休み中に準備をしておきましょう。きちんとした準備が整っていると心に余裕ができ、新しく始まる学年の活動や学習に向かいやすくなるはずです。

スマイルミッション、えがおの「お」は、「お兄さん・お姉さんになるための準備をしよう」です。

ここにいるみんなが、4月から一つ上の学年になります。春休みのうちに新しい学年でどんなことをがんばるか、目標をしっかり考えておきましょう。今より一歩ずつ、お兄さん・お姉さんになるので、目標も今より少しグレードアップできるといいですね。

また、春休みは交通事故や事件に巻き込まれることも多い休みです。

みなさんはお休みですが、大人の人は「年度末」と言ってとても忙しい時期です。いつも以上に車の往来や不審者には気をつけて、安全に春休みを過ごしてください。

紙面をお借りして、ごあいさつさせていただきます。

今年も1年間、学校通信にお付き合いいただき、ありがとうございました。今年を増刊号を含めて53号、2年間で109号の学校通信を発行することができました。先日、No.46で通信について書かせていただいたところ、ある保護者の方から「いつも学校通信楽しみにしています」というメッセージをいただき、とても嬉しくなった校長です。学校によっては紙面ではなく、電子媒体でおたよりを発行している学校もあると伺っていますが、自分の拘りもあり、最後まで紙面で発行させていただきました。

さて、私こと

この3月末をもちまして役職定年を迎えました。教員生活38年間のうち、その4分の1近くの9年間に小笠原小学校で勤務させていただきました。(教諭6年、教頭1年、校長2年)こんなに長く小笠原小学校の教育に携わらせていただけたとは思っていませんでしたし、特に最後の2年間は校長として保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、何とかこの職を終えることができることにたいへん感謝しています。特に昨年は、小笠原小学校が創立150周年を迎える特別な年であるということで、前任の飯久保校長先生から引継ぎを受けたときに、とても大きなプレッシャーを感じたことを覚えています。しかし、多くの方々の力をお借りして、創立150周年の記念式典とDVDの制作ができ、その上で今回、小笠原小学校での校長の職を大過なく終えることができ、今はとにかくほっとしています。

私は2年間、子どもたちに「スマイル・笑顔」ということをずっと言い続けてきましたが、この2年間は子どもたちの素敵な笑顔にたくさん触れることができ、元気もいっぱいもらいました。教頭として勤務させていただいた4年前には、新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校や分散登校もあり、子どもたちにも制限することばかりを強いてきました。そんな中でも、さまざまな場面で子どもたちの輝くような素敵な笑顔がたくさん見ることができ、救われた気持がしたことも思い出します。最後に、関洋子さんの詩を掲載させていただきましたが、この詩の中でも語られているように、今はただ素晴らしい子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に出会えたことに、ただただ「ありがとう」の言葉しかありません。

出逢い 関 洋子
あなたに出逢えてよかった
しみじみとそう思う
あなたに出逢えてよかった

ありがとう

すべてのふりかえる道が
この道へ続いていたとおもえる日は
こころが なんとでもくりかえす

ありがとう



小笠原小学校に勤務した9年間にいただいたご厚情に深く感謝いたします。小笠原小学校は、保護者の皆様と地域の皆様に支えられ、熱意溢れる教職員が指導・支援をし、その中で子どもたちが、のびのびと元気に素直に育つ素晴らしい学校だと思います。卒業した子どもたち、これから入学してくる子どもたち、そして、新年度からまた本校に通ってくる子どもたちが、笑顔いっぱいの毎日を送ることができることを祈っています。

末筆ではございますが、保護者の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

小中一貫校南アルプス市立小笠原小学校

第45代校長 佐野紳二